

問1 公職選挙法に関連して、現在日本では都市部と過疎地域の間で、議員1人あたりの有権者数に大きな開きが生じる「一票の格差」が重要な課題となっています。この格差を是正せずに放置することが、なぜ憲法違反の疑いがあるとされるのか、その理由として最も適切な説明を選びなさい。（2019年 和歌山公立入試 類似）

- | | | | |
|--|--|--|---|
| 1. 国民が等しく政治に参加する「法の下での平等」に反し、有権者が持つ一票の価値に不平等が生じるため | 2. 選挙区の面積に差があると、候補者が選挙活動で回れる範囲に違いが出てしまい、候補者間の平等が保てないため | 3. 有権者が少ない地域では、開票作業や選挙管理にかかる1人あたりのコストが割高になり、税金の無駄遣いになるため | 4. 人口の多い都市部でのみ選挙が行われるようになると、地方自治の原則である「住民自治」が損なわれてしまうため |
|--|--|--|---|

問2 衆議院議員総選挙における「比例代表制」の仕組みについて、2021年に実施された選挙の状況を踏まえて説明したものととして、最も適切なものはどれですか。（2022年 鳥取公立入試 類似）

- | | | | |
|--|--|---|--|
| 1. 全国を11のブロックに分け、それぞれのブロックごとに政党の得票数に応じて議席を配分する | 2. 全国を一つの単位とし、有権者は候補者名または政党名のどちらかを記入して投票する | 3. 一つの選挙区から複数の当選者が出る仕組みであり、死票を最小限に抑えることを目的としている | 4. 政党があらかじめ順位を決めない非拘束名簿式を採用しており、候補者個人の得票数で当選順位が決まる |
|--|--|---|--|

問3 一票の格差が拡大し、最高裁判所から「違憲状態」などの判決が出された際、この格差を解消するために国会が行う、議員の定数を増やしたり減らしたり、あるいは選挙区の区割りを変更したりする措置を何と呼びますか。（2016年 茨城県公立入試 類似）

- | | | | |
|---------|---------|---------|-----------|
| 1. 定数是正 | 2. 直接請求 | 3. 住民投票 | 4. 代表制の廃止 |
|---------|---------|---------|-----------|

問4 選挙制度の性質を、「国民の多様な意見を反映しやすいか」という視点と「議会で物事を決定しやすいか（政権が安定するか）」という2つの視点で分析したとき、比例代表制の性質を説明したものととして最も適切なものはどれですか。（2026年 滋賀公立入試 類似）

- | | | | |
|---|---|--|--|
| 1. 得票率に応じて議席が割り振られるため、多様な意見を持つ小政党も議席を得やすく意見反映の度合いは高いが、多くの政党が議会に並立するため意見の集約が難しく、物事の決定しやすさは低くなる傾向にある。 | 2. 1つの選挙区で最も支持を集めた者のみが当選するため、民意の反映度は非常に限定的になるが、二大政党制を促すことで議会内での迅速な意思決定を可能にする。 | 3. 候補者個人の人気が直接議席数に結びつくため、地域ごとの細かい要望を反映することには優れているが、国政レベルでの重要な政策決定には時間がかかる仕組みである。 | 4. 全国を1つの単位として投票を行うため、死票を完全になくすことができる一方で、特定の強力なリーダーシップを持つ政党が現れにくいと、政治的な混乱を招きやすい。 |
|---|---|--|--|

問5 過去の選挙統計において、ある政党が小選挙区での得票率が4割程度であったにもかかわらず、その制度による議席の7割以上を獲得し、得票率と議席占有率に大きな乖離（差）が生じた事例があります。このような現象が起こる背景として正しいものはどれですか。（2026年 神奈川県公立入試 類似）

- | | | | |
|--|--|---|--|
| 1. 小選挙区制において、多くの選挙区で第一党の候補者が僅差で勝利し、他候補への票がすべて死票となったため。 | 2. 比例代表制において、ドント式による計算の結果、得票の多い政党にボーナスとして議席が加算されたため。 | 3. 小選挙区制において、得票数に関わらずあらかじめ決められた一定の議席数が、各都道府県の第一党に配分されたため。 | 4. 比例代表制において、重複立候補した候補者が小選挙区で敗れたものの、比例名簿の順位によって復活当選したため。 |
|--|--|---|--|

問6 現代の民主政治において、主権者である国民が選挙によって選んだ代表者が議会を構成し、そこで話し合いを行うことによって、国の法律や予算などの意思決定を行う仕組みを何と呼びますか。国民が直接政治に参加する形式と対比させた名称を答えなさい。（2022年 新潟県公立入試 類似）

- | | | | |
|------------|-----------|---------|--------|
| 1. 議会制民主主義 | 2. 直接民主主義 | 3. 立憲主義 | 4. 多党制 |
|------------|-----------|---------|--------|

問7 日本の衆議院議員総選挙などで採用されている「小選挙区制」の主な利点として、適切なものはどれですか。（2026年 奈良公立入試 類似）

- | | | | |
|---------------------------------|-----------------------------------|--------------------------------|--|
| 1. 大政党が議会の過半数を確保しやすくなり、政局が安定する。 | 2. 死票が少なくなり、国民の多様な意見を細かく議席に反映できる。 | 3. 小政党でも議席を獲得しやすくなり、多党制が促進される。 | 4. 候補者個人の得票数に関わらず、政党の得票率に比例して議席が配分される。 |
|---------------------------------|-----------------------------------|--------------------------------|--|

答え合わせ・解説

- 問1** **答え 1**
**国民が等しく政治に参加する「法の下
の平等」に反し、有権者が持つ一票の価値
に不平等が生じるため**
- 日本国憲法は「法の下での平等」を保障しており、選挙において国民の意思は等しい価値で反映されなければなりません。一票の格差が大きいということは、有権者が少ない地域の1票が、有権者が多い地域の1票よりも大きな影響力を持つことを意味するため、民主政治の原則に反すると考えられています。このため、最高裁判所から「違憲状態」との判決が出ることもあります。
-
- 問2** **答え 1**
**全国を11のブロックに分け、それぞれ
のブロックごとに政党の得票数に応じて
議席を配分する**
- 衆議院の比例代表制は、全国を11のブロックに分けて集計する点、および政党があらかじめ当選順位を決める「拘束名簿式」を採用している点が特徴です。参議院の比例代表制（全国区・非拘束名簿式）とは異なる仕組みであるため、混同しないよう注意が必要です。
-
- 問3** **答え 1**
定数は正
- 人口の移動にともない選挙区ごとの有権者数に開きが出た場合、一票の重みを平等に近づけるために議員の定数を調整することを定数は正と呼びます。日本では、人口の少ない県の定数を減らし、多い県の定数を増やす「増減」の措置や、選挙区の境界線を引き直すことで対応しています。
-
- 問4** **答え 1**
**得票率に応じて議席が割り振られるた
め、多様な意見を持つ小政党も議席を得
やすく意見反映の度合いは高いが、多く
の政党が議会に並立するため意見の集約
が難しく、物事の決定しやすさは低くな
る傾向にある。**
- 比例代表制は、各政党の得票数に比例して議席を分配するため、小選挙区制では落選してしまうような小さな勢力や少数意見も議席を確保しやすくなります。これは「国民の多様な意見の反映」という点では優れていますが、議会に多くの小政党が乱立（多党化）すると、法律案などの採決において合意形成が難しくなり、「物事を決定するスピードや政権の安定性」という点では不利に働くことがあります。
-
- 問5** **答え 1**
**小選挙区制において、多くの選挙区で第
一党の候補者が僅差で勝利し、他候補へ
の票がすべて死票となったため。**
- 小選挙区制では、各選挙区で1位になった者のみが議席を得ます。そのため、全国の多くの選挙区で第一党が僅差で勝利を重ねると、2位以下の政党への票がすべて死票となり、第一党の得票率を大幅に上回る議席占有率（議席の集中）が生じることとなります。
-
- 問6** **答え 1**
議会制民主主義
- 国民が自分たちの代表者を選び、その代表者が集まる議会を通じて政治的意思決定を行う仕組みは「議会制民主主義」あるいは「間接民主制」と呼ばれます。多くの人口を抱え、議論すべき課題が複雑な現代国家において、全ての国民が常に一堂に会して議論することは困難であるため、この形式が広く採用されています。
-
- 問7** **答え 1**
**大政党が議会の過半数を確保しやすくな
り、政局が安定する。**
- 小選挙区制は1つの選挙区から1人の議員を選出する制度であり、得票数が多い大政党に有利に働く傾向があります。これにより、特定の政党が議会の過半数を占める二大政党制が形成されやすくなり、政権交代の枠組みが明確になるとともに、強力なリーダーシップによる政策実行が可能になることで政局の安定につながります。